

謹賀新年

年頭のごあいさつ



美祢市長 村田 弘司

新年明けましておめでとございます。市民の皆様には、清々しい新春をお迎えることと心からお慶び申し上げます。平素から市政に対し多大なご理解とご協力を賜っておりますことに、心から厚くお礼申し上げます。

さて、昨年3月21日の美祢地域1市2町の合併により、新「美祢市」が誕生し、直後の市長選挙において、私は、初代の美祢市長として市政の舵取り役を担うこ

ととなりましたが、市民の皆様への付託に応えるべく、誠心誠意努力いたす所存であります。

就任以来、常に念頭においてまいりましたことは、合併後の新市の一体感の醸成であります。これまで様々な取り組みを行ってきたおり、徐々に一体感は醸成されつつあるものと思っておりますが、今後そのための努力を継続してまいりたいと思っております。

合併初年度の昨年は、住みよいまちを築き上げていくための地域経営の基本的指針となる「第一次美祢市総合計画」の策定作業に着手しております。これは新市基本計画にあります「自然と調和し、潤いと活力にみちたやすらぎと交流の郷」の実現に向けて、10年後の市の将来像を描く作業であります。策定作業は平成20、21年度の2年間の予定であります。市民の皆様のご意見を十分に反映した総合計画にしたいと考えており、昨年末には、「総合計画審議会」を、併せて美祢、美東、秋芳それぞれに「地域審議会」を設置したところであります。

新「美祢市」の課題は山積してありますが、新市の「道筋」を着実につけていくことが、私に課せられた責務であると深く認識をいたしております。その課題に対し、全力をあげて取り組んでいるところであります。

課題のひとつには、市民の皆様への「生活の“足”の確保」がありますが、市内の公共交通がどうあるべきか、そのあり方を検討するため、バス会社など交通機



桜山からの初日の出

関の各業者などで構成します。「美祢市地域公共交通協議会」を設置し、ミニバスなどを含めた協議を進めております。

次に、テレビ放送のデジタル化への対策、高度情報化への対策を含め、情報の一元化に向けた市内全域の情報ネットワーク化についての検討作業にも着手し、推進しているところであります。

さらには、市内にあります2つの市立病院に関して、市民の皆様が安心して医療を受けることができるよう、この2つの病院を存続させることを基本とし、病院の経営健全化に向けての検討に入っており、諮問機関「美祢市病院事業あり方検討委員会」を設置し、さらに庁内に「美祢市病院改革推進本部」を設け、これについても鋭意作業を進めております。

さて、今年は秋芳洞開洞100周年という節目の年に当たりまして、盛大な記念事業を行い、これを起爆剤として「秋吉台、秋芳洞」をはじめとする美祢市の貴重な自然財産を最大限にアピールして、観光の活性化を促し、さらには、新市としての「観光振興計画」を策定することにより、秋吉台を中心とした観光資源や、長登銅山跡などの史跡を結びつけた総合的な観光振興に取り組んでまいります。

また4月には、皆さんよりの多くの応募の中から選定されました、新市の市章・市の花および市の木の発表を兼ねました、新市発足1周年記念式典を行う予

定です。

そして、平成23年には山口国体が開催されます。本市においては、「軟式野球」、「自転車ロードレース」や「ウォーク大会」を開催する予定であり、昨年は実行委員会も設置されました。本年はその足がかりの年として、市民の皆様のご協力をいただき、山口国体を是非成功させたいと思っております。

さらには、現在工事中の地域高規格道路小郡萩道路は、平成23年に供用開始となる予定であります。中国自動車道に接続するジャンクションができることにも、十文字から絵堂の間に4つのインターチェンジが誕生します。これにより本市への交通アクセスは一層便利になることが予想され、観光や定住促進を含めました美祢市の発展、振興にとつてたいへん明るいニュースであります。

しかしながら、財政事情は、引き続きたいへん厳しい中で、市政運営であることを肝に銘じ、行政改革、財政の健全化施策を講じるとともに、福祉や環境、教育施策の充実、産業の振興、高度情報化社会への対応など諸施策の推進や、安全で安心な生活環境の整備をめざして、実施すべき事業は積極的に推進していくべきであると思っております。

つきましては、今年も、市民の皆様と心をひとつにし、「自然と調和し、潤いと活力にみちたやすらぎと交流の郷」の

実現に向けて、誇りと自信をもてる、夢と希望ある新生美祢の創造を進めてまいりたいと決意を新たにしております。

何とぞ、市民の皆様におかれましては、ご支援賜りますようお願い申し上げます。新年が、皆様にとりまして健康で喜びに満ちあふれた年となります。心からお祈りし、新年のごあいさついたします。



春の秋吉台